

ゆめ

令和6年3月11日

浜松市立熊小学校だより
〈発行者〉校長 二橋宏之

〈学校教育目標〉「ゆめ」に向かって たくましく生きる子供
〈清竜中学校区の目指す子ども像〉

自分のよさに気づき、他者とのかわりを大切に、夢に向かって努力する子供



ヤマガラのおさえずりが聞こえてくるようになりました。花壇のチューリップのつぼみも膨らんできました。いよいよ令和5年度も最終月。先日、6年生を送る会が開かれましたが、子供たちのこの1年の成長と熊小学校のよき伝統を感じることができる心温まる会となりました。



学校の様子をご覧いただけます。熊小ブログへ。

6年生を送る会

1年生から5年生までの全員が企画や運営に携わり「6年生を送る会」を実施しました。それぞれの学年で考えたゲームと一緒に楽しんだり、6年生に感謝の気持ちを込めた歌を披露したりしました。特に歌のプレゼントからは、感極まって涙があふれ出す子もたくさんいました。6年生を送る会は大成功。特に企画運営の中心となって頑張った3年生4年生5年生の自信につながったのではないかと思います。

6年生からは、次期リーダーである5年生に6年生としての役割と責任が伝えられ、リーダーのバトンが渡されました。さらに下級生一人一人の名前を呼び、それぞれにメッセージを送ってくれました。そのメッセージにうれしそうな顔をして耳を傾ける下級生の様子もまた印象的でした。熊小のよい伝統は6年生から下級生に確かに引き継がれています。



リコーダー鑑賞教室（社会福祉協議会主催 3世代交流事業）

浜松リコーダーアンサンブルの奏者8人が来校され、リコーダー鑑賞教室が開かれました。これは社会福祉協議会主催の3世代交流事業によるものです。ソプラニーノ、ソプラノ、アルト、テナー、バスの5音域のリコーダーを使ってホルスト作曲の「木星」や「千と千尋の神隠し」の挿入歌である「いのちの名前」をはじめとして9曲を披露してくれました。さらに全校児童と一緒に「パフ」という曲を合奏してくれました。



美しいリコーダーの音色に子供たちは大きな刺激を受けていました。また、一緒に合奏して、自分たちの奏でるメロディがアンサンブルの皆さんが加わることでものすごく厚みのある素敵なメロディになることにとっても感動していました。

心を耕す文化体験、子供たちにとって、大変貴重な学びの場となりました。



子供たちの様子 学校の様子（2月）



おもちゃランド生活科 1・2年
上級生を招待し、自分たちが作ったおもちゃで楽しんでもらいました。



豆まき会（幼小交流）
幼稚園の豆まき会に6年生が鬼役として参加しました。



デイサービスとの交流 1・2年生
が体育館でデイサービスの皆さんと遊びを通して交流しました。



昔の道具（社会科） 3年生が熊ふれあいセンターを訪ね、昔の道具について学びました。



校長室で会食 6年生と校長が会食し、卒業までにやりたいこと、今後の抱負について語り合いました。



百人一首大会 全員が交代しながら読み手を務めました。上の句で反応できるようになってきました。



年長児給食体験 年長児が4月からの入学に備え、小学生と一緒に給食を食べる体験をしました。



入学説明会 新年度に向け入学説明会を開催しました。年長児は授業体験もしました。



縄跳び大会 全校で縄跳び大会を開き、自分の目標記録にチャレンジしました。

オンライン学習交流

3年生が上阿多古小学校の3年生と国語の学習でオンライン学習交流をしました。上阿多古小学校の3年生は理科で学んだことを活かして作ったランプシェードについて紹介してくれました。実際に点灯させ、そのすてきに輝く様子とともに、工夫したことを含めて説明してくれました。熊小学校の3年生は、二人で協力しながら熊小学校の裏山やゆめ広場の大岩、ゆめポストについて紹介しました。来年度、「四小連合の日」では4

年生が熊小に集合することになっているので興味をもってもらえたのではないかと思います。お互いの発表を集中して聞き、ポイントを押さえて質問したり、感想を言ったりすることができていました。

話したり、聞いたりするコミュニケーションを通して学びを深めるために、ICTを活用し、時間的空間的な壁を乗り越えて交流ができます。これからも計画的にこのようなオンライン学習交流を工夫して実施していきたいと思います。

